

災害ボランティア活動の支援に関する協定書

前文

みえパートナーシップ宣言の精神に基づいて、ボランティア・市民活動団体及びボランティア関係機関（以下「ボランティア関係組織等」という。）並びに三重県（以下「県」という。）が協働し、災害に強いまちづくりを行うことを目的として締結します。

（趣旨）

第1条 この協定は、被災地・被災者を支援するボランティア関係組織等及び県の間での協働の原則と、現地災害ボランティアセンターを支える、みえ災害ボランティア支援センター（以下「支援センター」という。）の設置及び運営に関し、ボランティア関係組織等及び県が果たすべき役割等について必要な事項を定めるものとします。

（協働の原則）

第2条 災害時に支援を行うボランティア関係組織等及び県は、常に次のことを心がけます。

- (1) 互いの組織は対等な関係を保ち、自発的に事業に取り組みます。
- (2) 互いの組織の立場やその成り立ち、活動の目的を理解し、尊重します。
- (3) 災害時にはすみやかに互いの資源を持ち寄って支援センターを設置できるよう、平常時から定期的に話し合い、事業を行います。
- (4) 事業実施に当たっては本協定を締結した団体以外の多様な主体にも、県内外を問わず積極的に参加を呼びかけます。
- (5) 情報交換や意見交換、共に取り組んだ事業で得られた結果を、それぞれの施策や行動の方針へ反映させます。
- (6) 互いの知的財産を尊重します。
- (7) 事業の透明性を確保します。

（県の役割）

第3条 県は、支援センターの事業を効果的に実施するために次のことを担います。

- (1) 平常時の事務局機能を担います。
- (2) 支援センターは、みえ県民交流センターに設置します。
- (3) この他、支援センター運営のために必要な人員・資材・資金・情報の収集、提供及び活用に最大限の努力をします。

（ボランティア関係組織等の役割）

第4条 ボランティア関係組織等は、支援センターの事業を効果的に実施するために次のことを担います。

- (1) 平常時から連携強化に関する取り組みを行います。
- (2) この他、支援センター運営のために必要な人員・資材・資金・情報の収集、提供及び活用に最大限の努力をします。

（その他）

第5条 この協定の実施に関し必要な事項またはこの協定に定めのない事項については、その都度協議して定めるものとします。

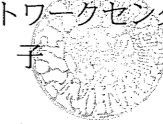
本協定の締結を証するため、関係者記名押印の上、各自その1通を保有するものとします。

平成29年3月14日

三重県伊勢市竹ヶ鼻町170番地1
特定非営利活動法人みえ防災市民会議
議長 山本 康史



三重県四日市市萱生町1200番地
四日市大学 特定非営利活動法人市民社会研究所内
特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンター
代表理事 松井 真理子



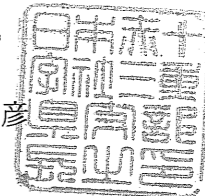
三重県津市桜橋2丁目131番地
三重県ボランティア連絡協議会
会長 川瀬 みち代



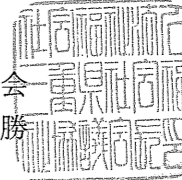
三重県松阪市若葉町161-2番地松阪商工会議所内
公益社団法人日本青年会議所東海地区三重ブロック協議会
会長 林 佳宏



三重県津市栄町1丁目891番地
日本赤十字社三重県支部
支部長 野呂 昭彦



三重県津市桜橋2丁目131番地
社会福祉法人三重県社会福祉協議会
会長 井村 正勝



三重県津市広明町13番地
三重県
三重県知事 鈴木 英 敬

